

JBL4350A の音質向上(6) —パワーリベラメンテの効果(6)—

1. 始めに

前報(1)から(4)においては、JBL4350A のパワーアンプとチャンネルデバイダーを除いてパワーリベラメンテが導入されてきたので、その状態で JBL4350A がどう変わっているか確認し、さらに前報(5)においては、JBL4350A のパワーアンプとチャンネルデバイダーへのパワーリベラメンテ導入の準備として KOJO のタップの導入を行いました。その後、追加のパワーリベラメンテが入手できましたので、その効果を確認することにしました。

2. JBL4350A のシステムにおけるパワーリベラメンテ給電の試聴方法

今回はパワーアンプとチャンネルデバイダーの電源用の KOJO のタップにパワーリベラメンテ経由で給電し、この状態でアナログ系の試聴を行いました。試聴方法は前報(1)および前報(5)と同様で、プレイヤーはガラード 401 でカートリッジは EMT の XSD-15、フォノイコは iPhono の L/R 独立 2 台使用です。なお、iPhono はインフラノイズの防振台とアクションパッドを敷いており、ガラード 401 のターンテーブルシートはアクションパッドで製作したものですので、アナログ系とプリアンプへのパワーリベラメンテ給電の効果に加えて、これらの効果も併せて聴くことになります。

3. JBL4350A のシステムにおけるパワーリベラメンテ給電の試聴結果

前報(5)の状況から、KOJO のタップに給電するケーブルがパワーリベラメンテに代わっただけですが、全体として透明度が上がり、その副作用として湿度感や艶が失われることもなく、むしろ好ましい方向に変化しました。アクションパッドで製作したターンテーブルシートとも良くマッチし、音の柔らかさと切れ込みが両立している印象です。JBL4350A でもバロックアンサンブルが落ち着いて聴けます。

4. まとめ

タップに給電するケーブルがパワーリベラメンテに代わっただけですが、それでもアナログ再生の品位が上がる方向に変化しました。

以上